

2025年3月期（2024年度）

TOSO トーソー株式会社

（東証スタンダード市場 証券コード：5956）

決 算 説 明 会

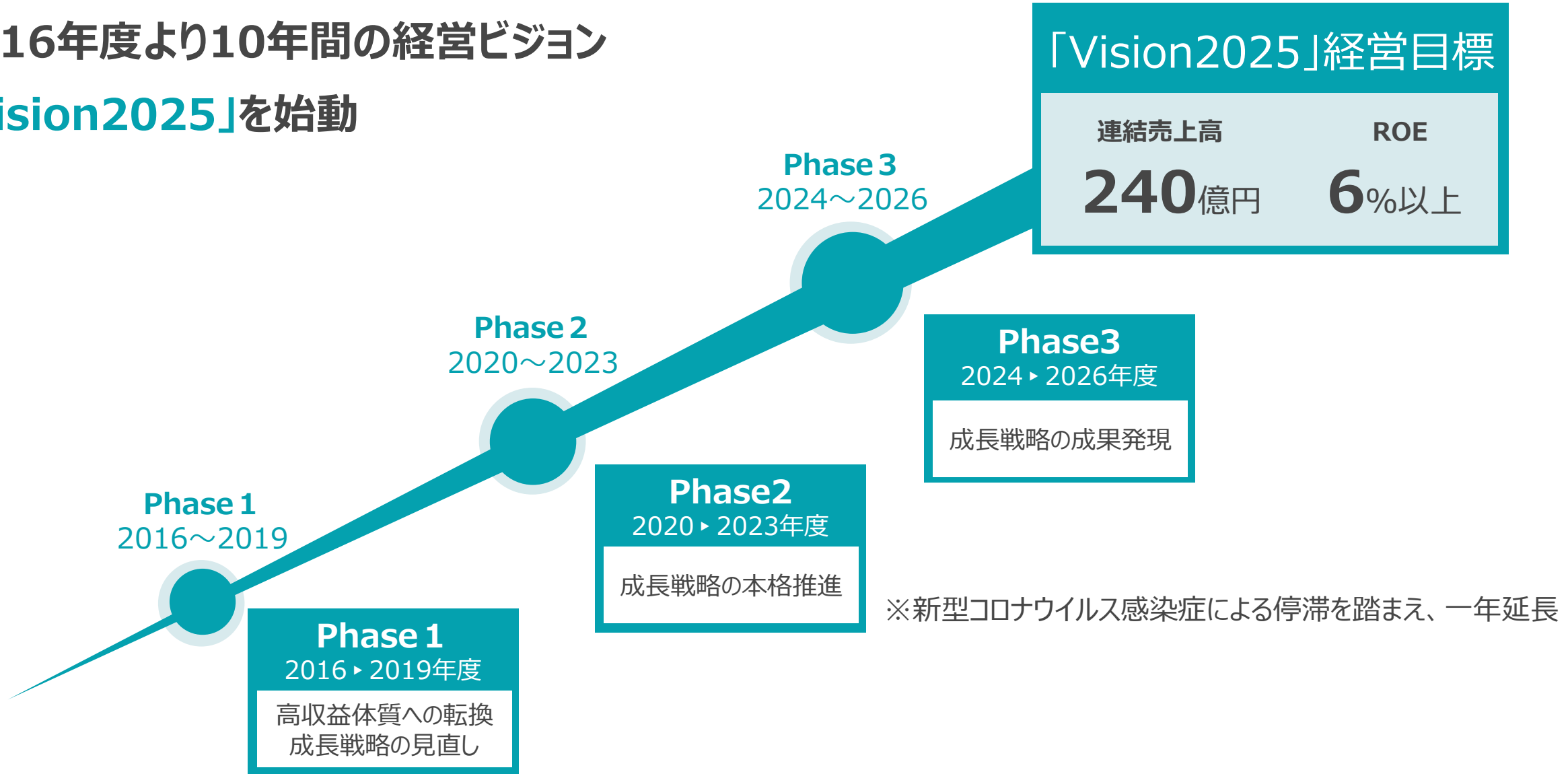
2025年5月26日

会場：東京証券会館 第4・5会議室

1.経営ビジョン「Vision2025」について

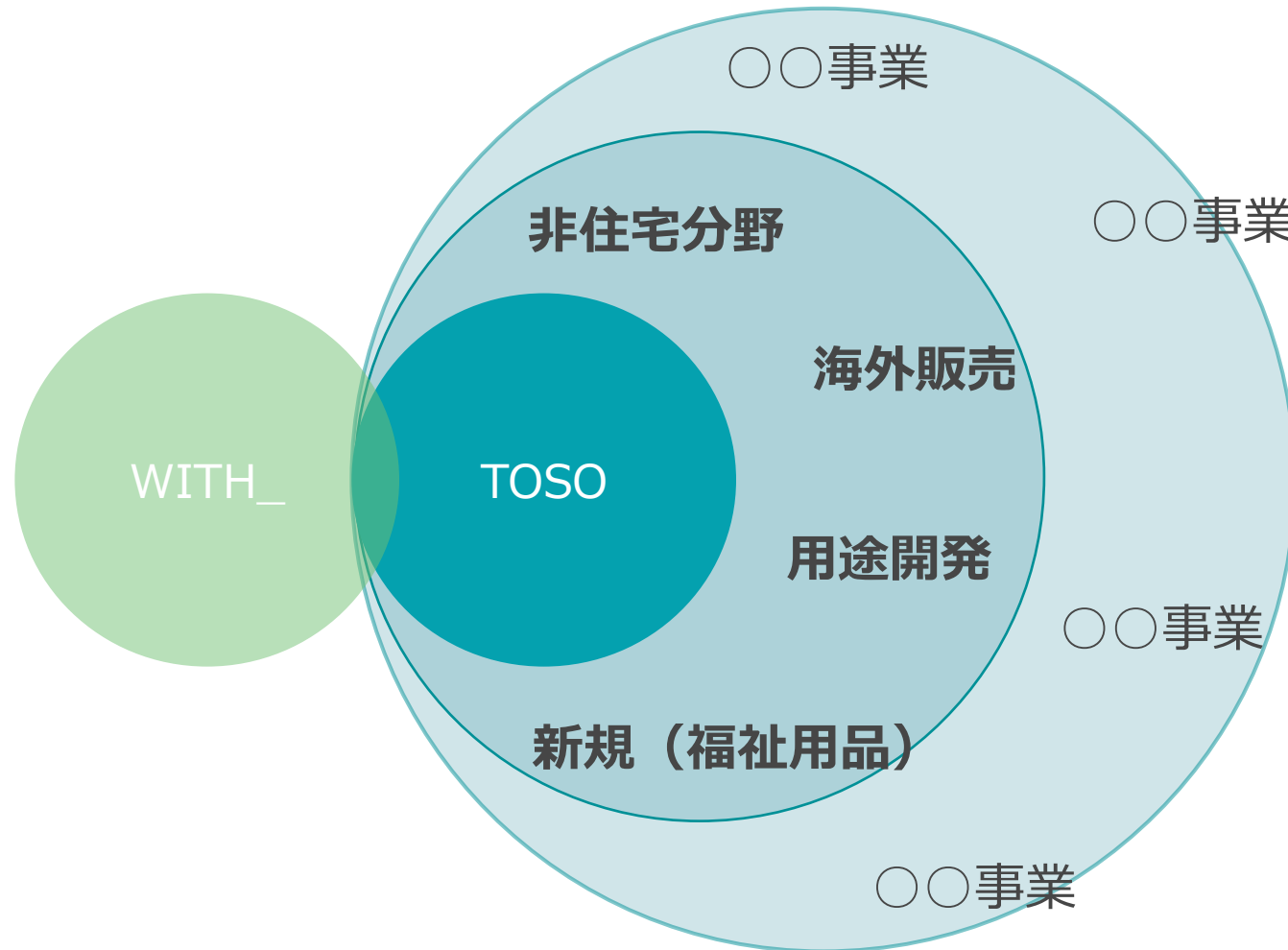
経営ビジョン「Vision2025」

2016年度より10年間の経営ビジョン 「Vision2025」を始動



経営ビジョン「Vision2025」

コアビジネス（国内住宅市場）から水紋状に事業拡大を目指す

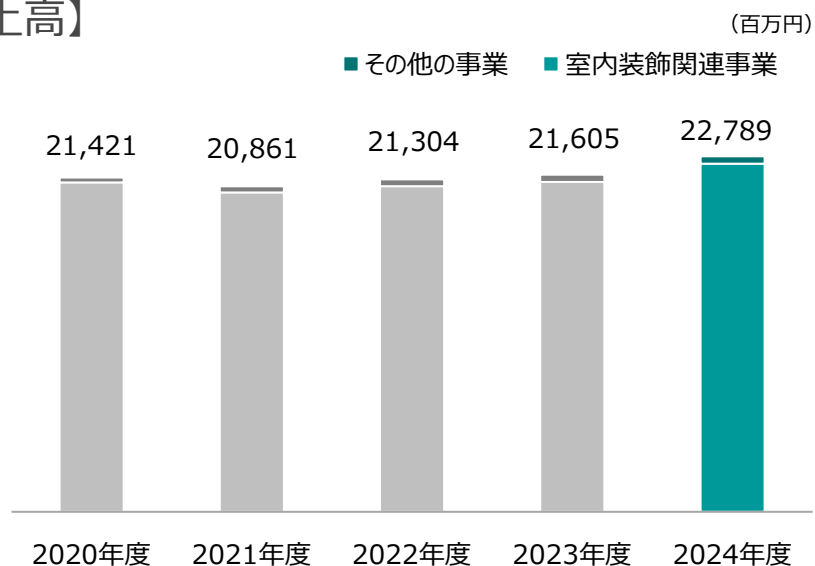


2. 2025年3月期（2024年度）業績

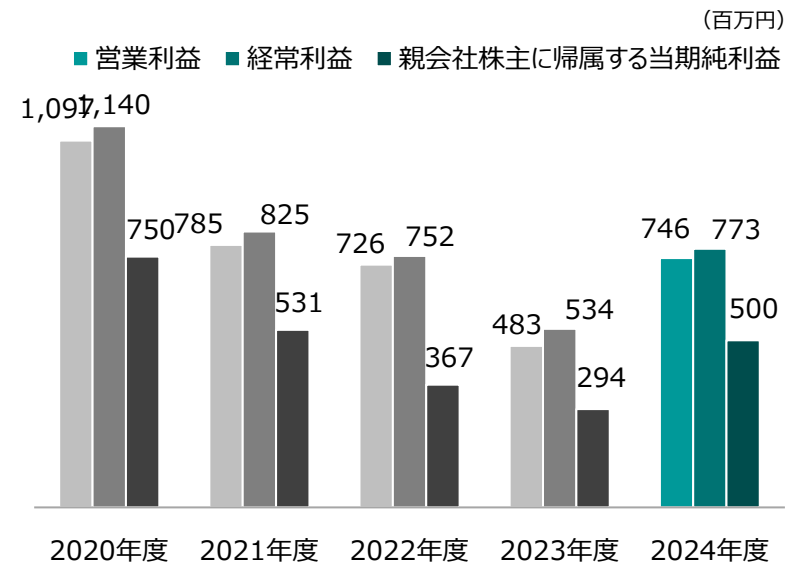
2024年度連結業績概況

	前期比		コメント
売上高	5.5% 増収	↑	住宅・非住宅・海外・福祉用品 各分野の販売増が影響
営業利益	54.5% 増益	↑	原価低減活動や価格改定が寄与
経常利益	44.7% 増益	↑	前年度営業外収入の反動減（保険解約返戻金など）
親会社株主に帰属する当期純利益	69.6% 増益	↑	前年の特別損失の反動減（減損損失など）

【売上高】



【利益】



売上高の状況

住宅分野・非住宅・海外販売・用途開発・新規（福祉用品）の 各分野が好調に推移したことで増収

＜外部環境＞

- 新設住宅着工戸数は一時的な増加が見られたものの、期間全体では低調
- 非住宅は着工床面積合計は前年割れだが、インバウンド需要を背景に宿泊施設は好調
- 原材料価格の高騰や円安が続く

＜内部取組＞

- 新製品を発売
- 新製品展示会の開催や各種展示会へ出展
- 一部製品の価格改定を実施

コアビジネス



国内住宅市場

+ 3.9%

成長戦略



非住宅

+ 12.7%



海外

+ 11.0%



用途開発

+ 9.5%

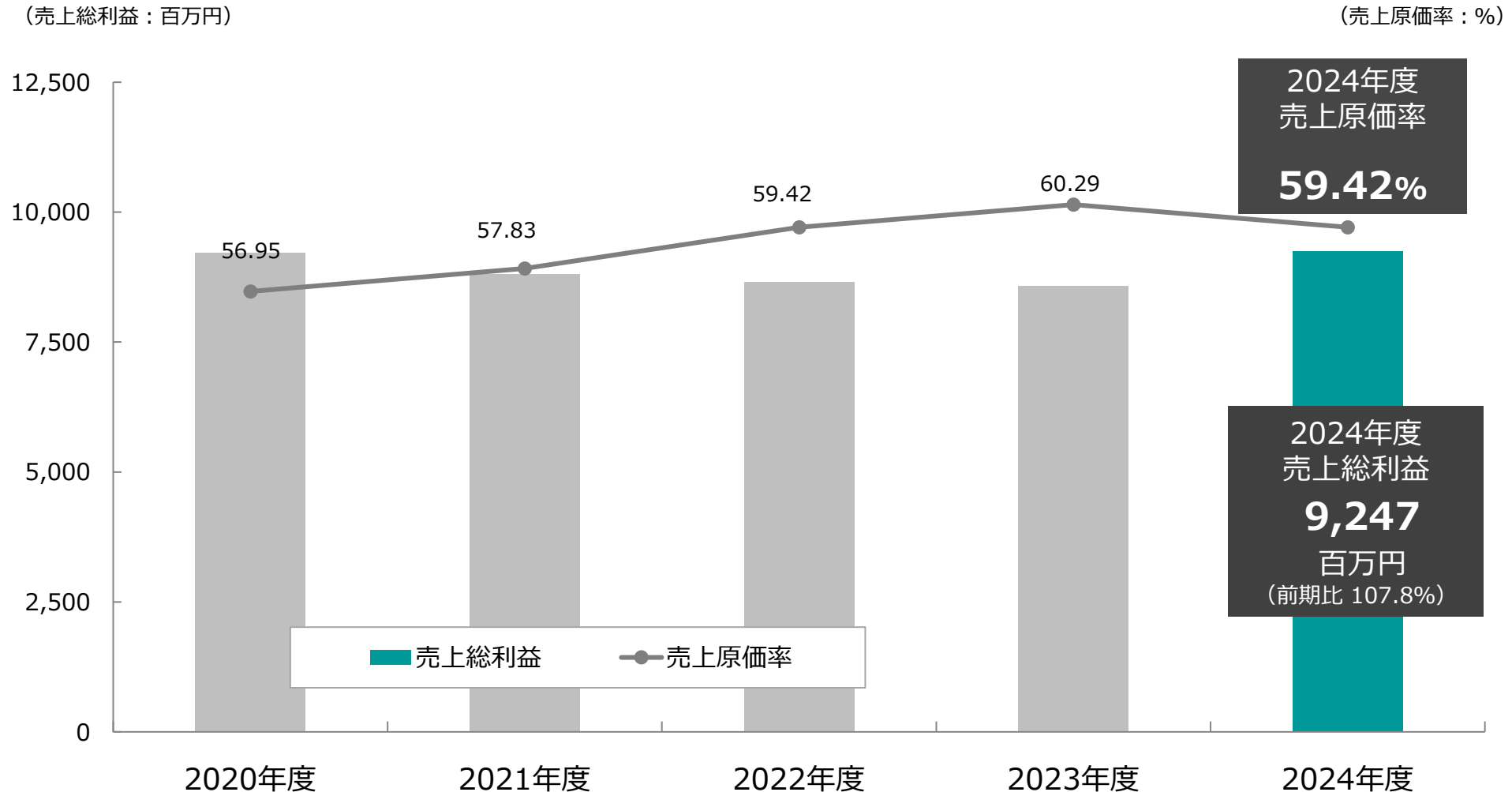


新規
(福祉用品)

+ 3.6%

売上総利益・売上原価率の推移

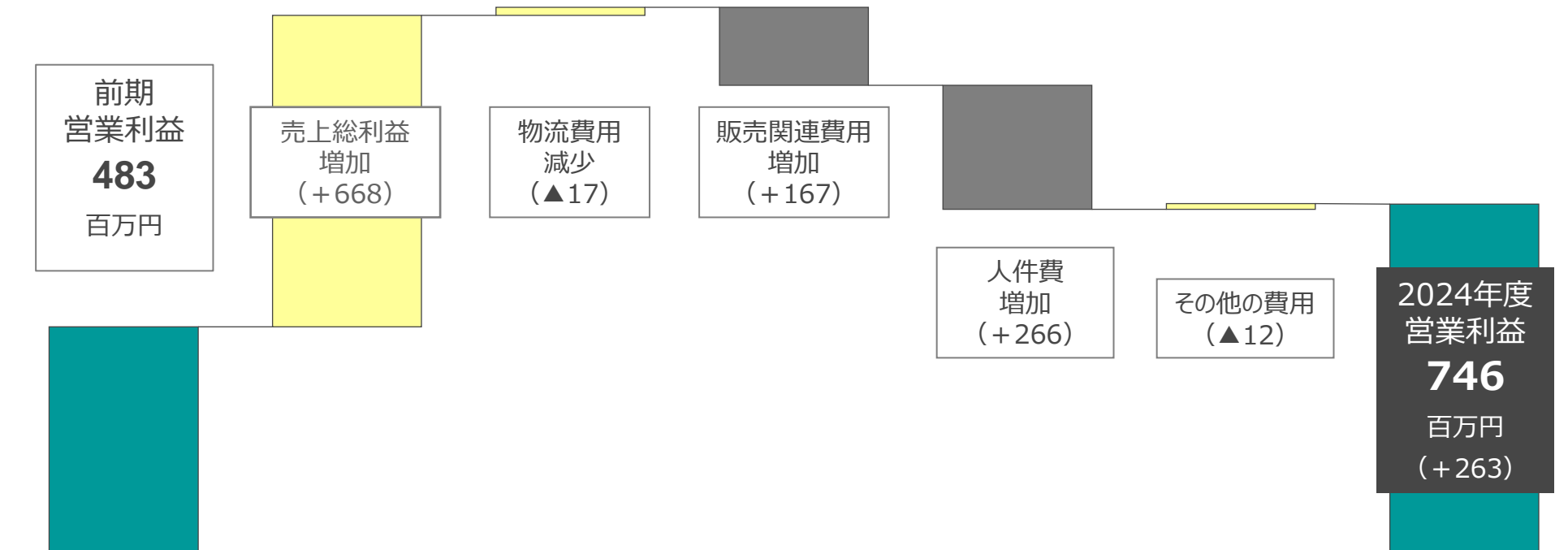
原材料価格の高騰や為替変動が影響も、価格改定が寄与



固定費・営業利益

販促費や人件費等が増加したものの、
売上総利益の増加により営業利益は増益

単位：百万円

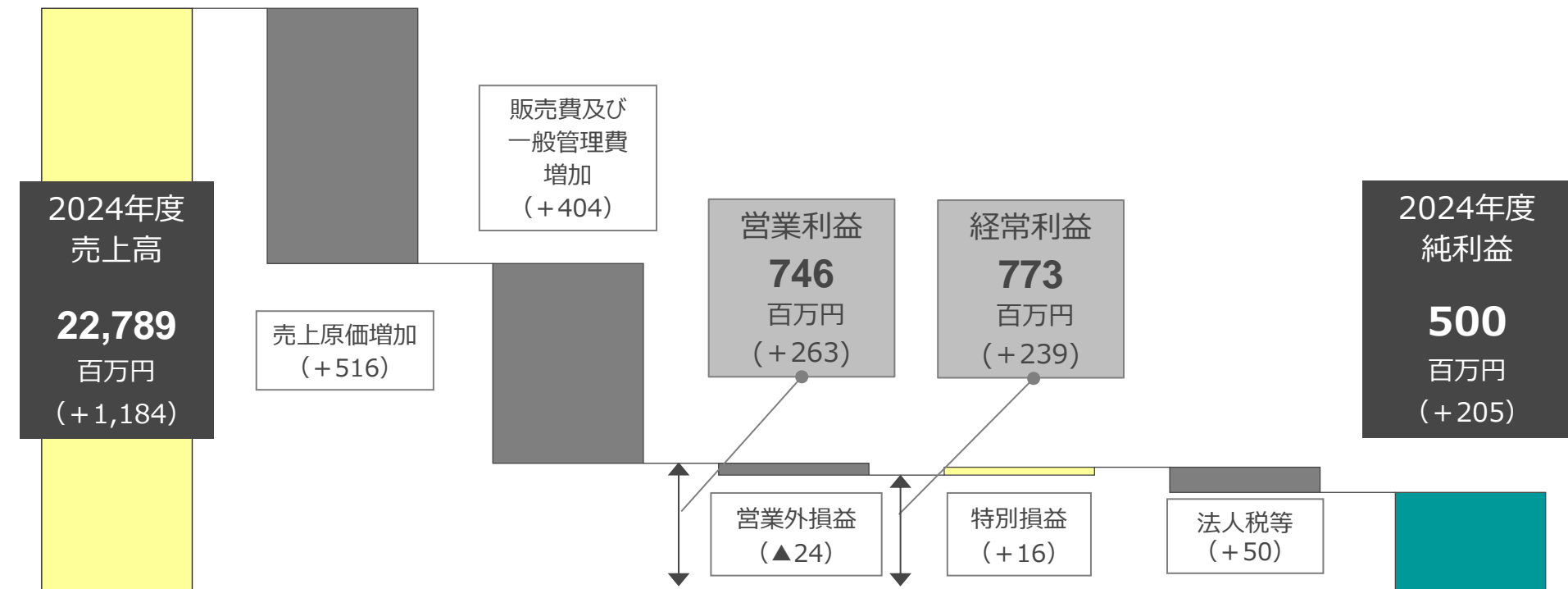


※ () 内は前期との増減金額

連結損益の前期比増減

販管費増も、売上高の増加により増益

単位：百万円



※ () 内は前期との増減金額

貸借対照表・キャッシュフロー計算書

【貸借対照表】

単位：百万円

<p>《主な変動要因》</p> <p>流動資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金（+374） ・売上債権（+72） ・棚卸資産（+193） など <p>固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産（+109） ・無形固定資産（▲30） ・投資その他の資産（+15） など 	<p>総資産 22,205 百万円（+548）</p>		<p>《主な変動要因》</p> <p>負債の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支払債務（▲656） ・短期借入金（+592） ・未払費用（+196） など <p>純資産の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金（+410） ・繰延ヘッジ損益（▲159） ・為替換算調整勘定（+175） など
	<p>流動資産</p> <p>16,491（+454）</p>	<p>負債</p> <p>7,424（+181）</p> <p>有利子負債</p> <p>1,854（+592）</p>	
	<p>固定資産</p> <p>5,713（+94）</p>	<p>純資産</p> <p>14,781（+366）</p>	

※（ ）内は前期末比増減

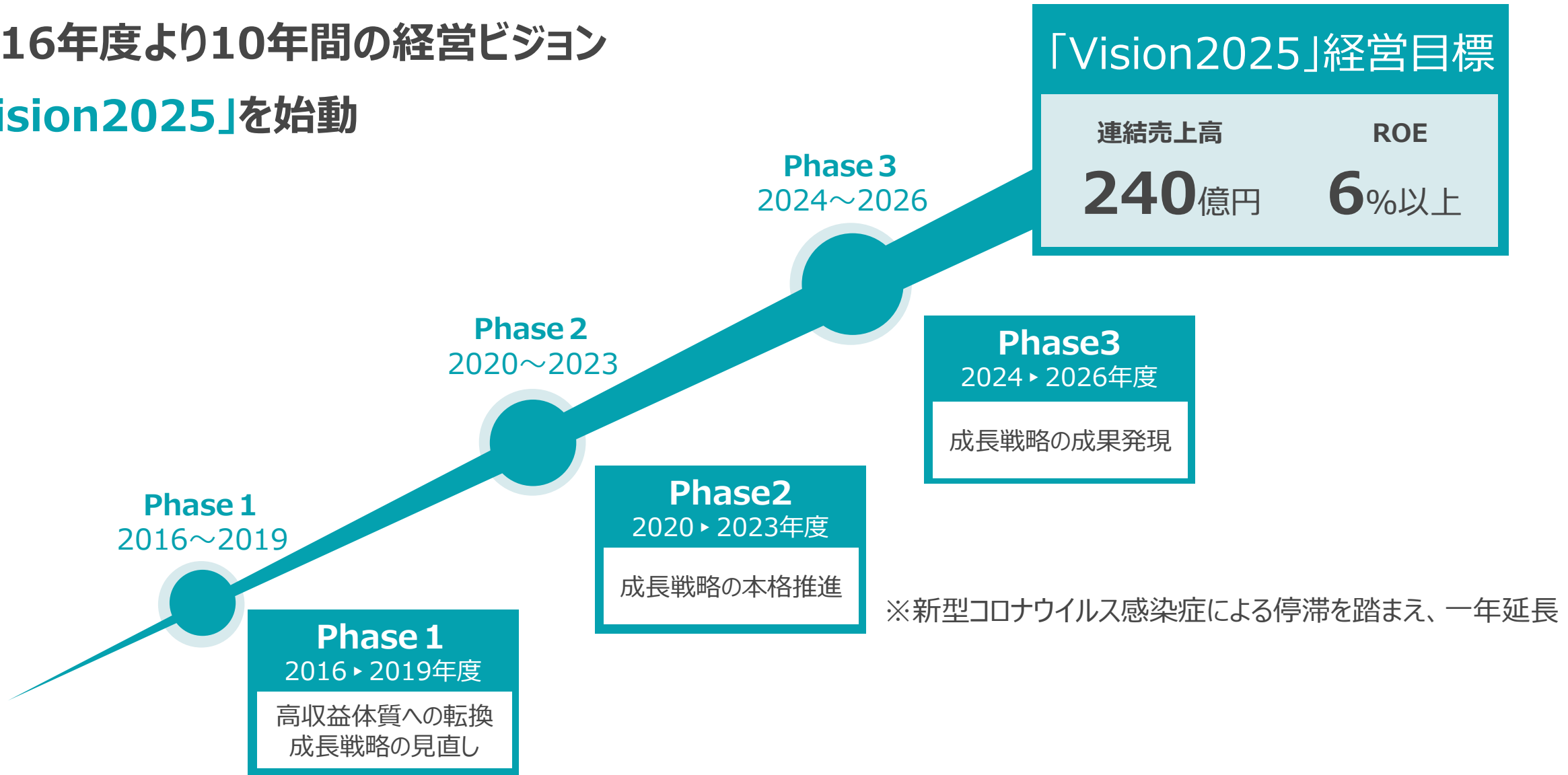
【キャッシュフロー計算書】

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	690 百万円	457 百万円	▲233 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲581 百万円	▲539 百万円	+42 百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲193 百万円	377 百万円	+570 百万円

3. 「Vision2025」第3フェーズ進捗状況

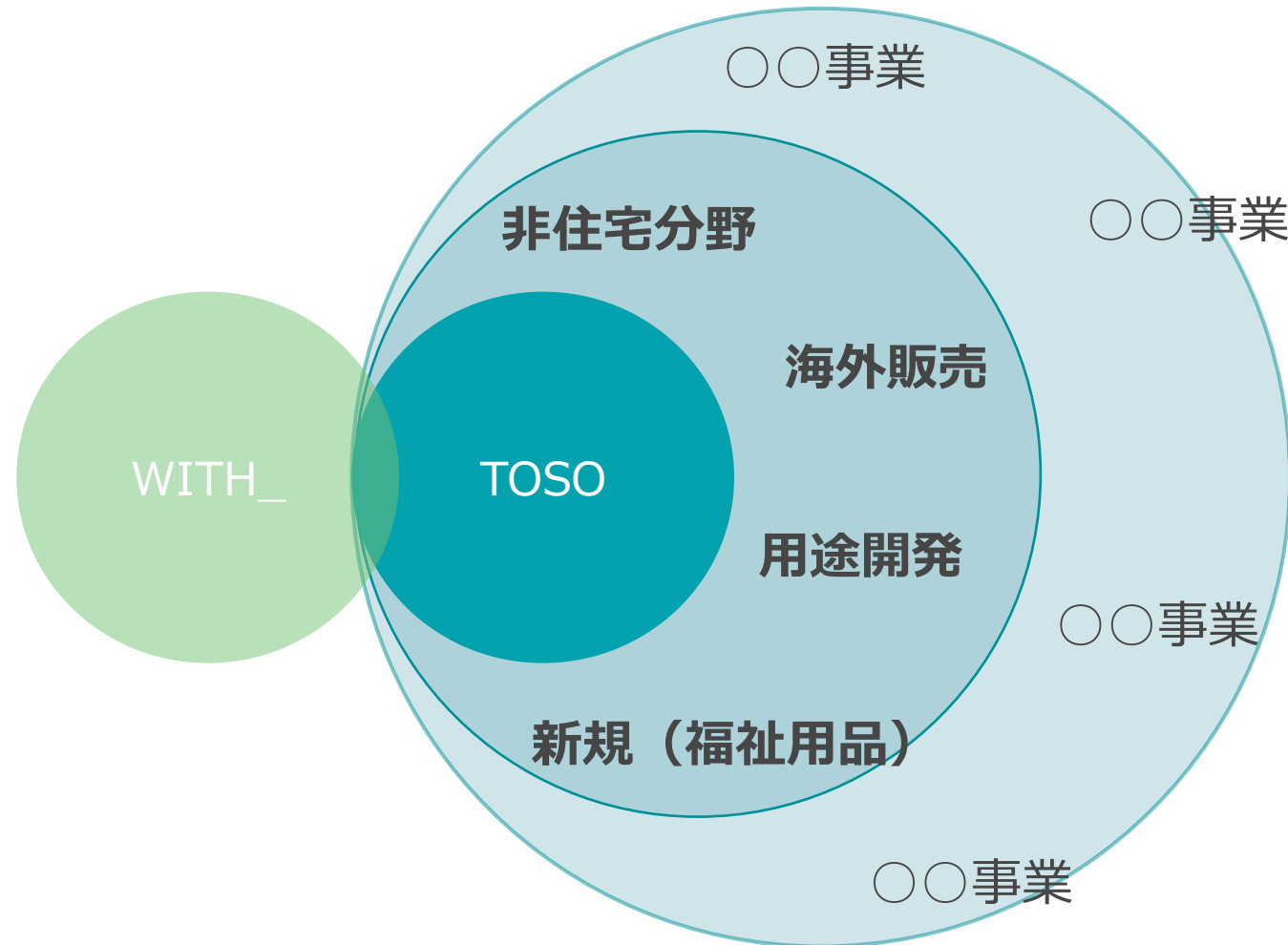
経営ビジョン「Vision2025」

2016年度より10年間の経営ビジョン 「Vision2025」を始動



経営ビジョン「Vision2025」

コアビジネス（国内住宅市場）から水紋状に事業拡大を目指す



「Vision2025」第3フェーズ

◆ 目標指標

売上高

240億円

ROE

6%以上

◆ 重点施策

1

コアビジネスにおける「TOSO」特有の
新しい企業価値創造

2

成長戦略への重点投資による
事業領域拡大

3

持続的な企業成長を実現するための
強固な経営基盤の再整備

◆ 資本コストを意識した経営

- 配当方針の変更
- 機動的な自己株式の取得
- キャッシュアロケーション

◆ サステナビリティへの取り組み

- GHG排出量・廃プラスチック廃棄量削減
- ダイバーシティの推進、人材育成
- 定量目標項目の設定および開示

重点施策1.

1 コアビジネスにおける「TOSO」特有の新しい企業価値創造

- 新製品の集中投下（ロールスクリーン、バーチカルブラインド、ハンギングバー等）
- ウェーブスタイルカーテンの訴求
- Instagramフォロワー2万人超



バーチカルブラインド「デュアルツイン」



ハンギングバー「H-2」（左）・「H-3」（右）



Instagram投稿

重点施策2.

2 成長戦略への重点投資による事業領域拡大

(1) 非住宅分野

- ・ 専任担当を配置し、物件獲得体制を強化
- ・ 獲得件数・金額とも増加

(2) 用途開発

- ・ 車両向けやエクステリア向けなど推進
- ・ 成果発現はまだ小さいが水面下で進んでいる

(3) 海外販売

- ・ 2024年2月に出展したR + T 2024を足掛かりに、新規代理店開拓
- ・ インド・東南アジア好調

(4) 新規ビジネス領域

- ・ フジホーム（福祉用品）にてバリアフリー展・HCR等出展
- ・ 新規取引先獲得により売上拡大



R + T 2024



HCR

重点施策3.

3 持続的な企業成長を実現するための強固な経営基盤の再整備

(1) 利益体質強化に向けた生産体制・コスト構造の再構築

- 原価低減活動の推進
- 価格改定の実施
- 販売好調な商品の生産体制強化

(2) エンゲージメント向上のための職場環境づくり

- 健康経営優良法人2025（大規模法人部門）認定取得
- 多様な働き方や働きやすい環境づくりに向けた各種制度の導入・見直し
 - 例：時差出勤制度の導入、育児短時間勤務制度の拡充
- 2024年度・2025年度ベースアップ実施



資本政策（資本コストを意識した経営）

＜基本方針＞

- 安定配当（10円/年）を維持しながら、
一定の利益水準を超えた際には業績連動型の増配を行う
- 目標指標は配当性向20%程度を目安とする
- 自己株式の取得を中期計画の中で志向していく
- フリーキャッシュフロー拡大を志向し、
増加した分は資産効率に応じたメリハリのある投資を行う

＜2024年度進捗＞

- 2024年8～11月に自己株式の取得を実施
- 2025年3月期配当は、中間配当5円、期末配当6.5円（配当性向20.5%）

サステナビリティへの取り組み

<目標指標および進捗>

	指標	単位	2022年度 (基準年)	2023年度 (実績)	2024年度 (実績)	目標
環境	GHG排出量 (Scope1・2)	t-CO ₂ e	3,393	3,366	算定中	2030年度までに30%削減
	廃プラスチック廃棄量	t	333.0	327.4	算定中	2030年度までに15%削減
社会	女性管理職者比率	%	-	4.2	4.2	2026年度までに10%以上
	男性育児休業取得率	%	-	33.3	87.5	2026年度までに50%以上

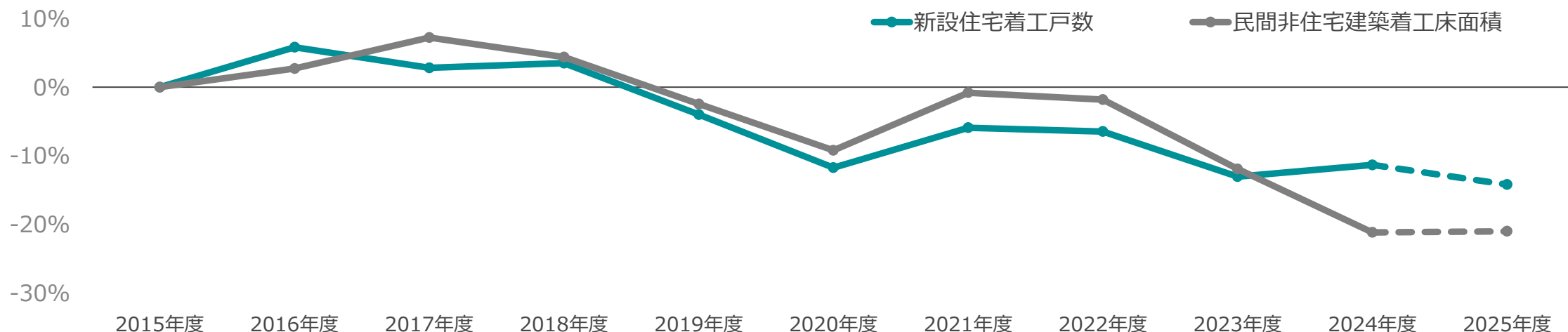
<2024年度進捗>

- ・ つくばみらい市・常総市に対し、企業版ふるさと納税を実施
- ・ トーソーグループ人権方針を策定
- ・ 健康経営優良法人2025（大規模法人部門）認定取得

4. 2026年3月期（2025年度）の見通し

2026年3月期（2025年度）の見通し

住宅および非住宅の着工推移（2015年度比）



(※)国土交通省「建築着工統計調査および一般財団法人 建設経済研究所「建設経済モデルによる建設投資の見通し」を基に作成。2025年度は見込み値。

市 場 環 境	<ul style="list-style-type: none"> 国内経済は回復基調で推移するとみられるものの、国際情勢等の懸念もあり、先行きは不透明 引き続き資材価格の高騰や為替変動に伴う影響が発生する見通し 住宅関連市場は、新設住宅着工戸数は減少、非住宅着工床面積は微増の見通し
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値型新製品発売および展示会等とSNS等によるデジタル・アナログ両面のプロモーション強化 コア領域（住宅分野）の深耕と成長領域（非住宅分野、海外販売、新規ビジネス領域）への取り組み強化 一層の原価低減推進および費用低減や、サステナビリティへの取り組み推進

2026年3月期（2025年度）業績予想

	2025年3月期 (2024年度)		
	当初見通し	実績	前期比
売上高	22,700	22,790	105.5%
原価率	—	59.42%	(※) 98.6%
販管費	—	8,500	105.0%
営業利益	580	746	154.5%
経常利益	630	773	144.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	350	500	169.6%

(※)原価率の前期比は、「2024年度原価率」÷「2023年度原価率」にて算出

2026年3月期 (2025年度)	
見通し	前期比
23,500	103.1%
継続的な 原価低減活動を推進	
効率・採算性を 重視した費用執行	
600	80.3%
630	81.4%
400	80.0%

TOSO トーソー株式会社

(東証スタンダード市場 証券コード : 5956)

当資料に関するお問い合わせ先 : トーソー株式会社 経営管理部 経営企画課

TEL : 03-3552-5877 FAX : 03-3555-3785 E-mail : ir@toso.co.jp